



ワシントン日本語学校事務局

Phone (301)962-7410

FAX (301)962-7411



はなみずき

mail:wjls@wjls.org http://www.wjls.org/



～巣立ちと修了の春に寄せて～

校長 東間 義孝



先週、39名の卒園児が立派に幼稚部卒業式を終えることができました。また本日は、第67回卒業証書授与式を挙行いたします。小学部41名、中学部30名、高等部22名、計93名の卒業生を送り出します。

世界で最も歴史のある補習授業校として、長い伝統を有する本校の学部を卒業生する皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。特に高等部の皆さんは、本校を巣立ち、それぞれの新たな道へと踏み出します。

卒業生の皆さんは、各学部の最高学年として学校生活の様々な場面でリーダーシップを発揮し、

「WJLSの顔」として立派に活躍してくれました。その姿は在校生にとって大きな励みとなり、本校の伝統を確かに引き継ぐものとなりました。



また、修了日となる本日、後期通知表を配付します。ご家庭におかれましても、「何ができるようになったのか」「なぜできるようになったのか」「これから何をどのように頑張るのか」などについて、お子さんと語り合っていたければ幸いです。自らの成長を振り返り、できるようになったことや課題を見つめ直すことは、自己肯定感を高め、次の目標へと向かう意欲につながります。そうした関わりの積み重ねが、子ども一人一人の確かな成長を促していくものと考えます。

本年度、「よさを見つけ、ほめて伸ばそう」をスローガンに、教職員一丸となって子どもたちに寄り添い、指導に当たってまいりました。また、この一年間は「共育」の姿勢を大切にしながら共働学習を行い、学校とご家庭が連携して育む場面が多く見られ、子どもたちの笑顔が増えてきたことを大変嬉しく思います。

保護者の皆様、運営委員の皆様、関係団体や支援企業の皆様の温かく力強いご理解やご支援により、子どもたちは安心して学校生活を送り、教職員も教育活動に全力で取り組むことができました。改めて深く感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

…次年度スタートにあたって…

「2026 学校のしおり」は、準備が整い次第配信する予定です。学校の概要や進学・進級する学年のことなどが記されておりますので、ぜひご一読、ご確認ください。

在校生代表の送辞

柔らかな春風に、ワシントンの桜の開花が待ち遠しい季節となりました。

卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。高校1年、生徒会書記の高松カリンです。



小学6年生の皆さんは、コロナ禍での入学など、特殊な小学生のスタートとなりましたが、時代の変化に親しむ世代として、オンラインを使いこなした6年間でしたね。青空ピクニックでは、小学校の最高学年として、低学年を立派にまとめてくれました。中学に進学するにつれ新しい挑戦が増えるかと思いますが、様々なことを乗り越えてきた皆さんなら、それらを楽しみながら、進む力があると信じています。これからの活躍を楽しみにしています。

中学3年生の皆さんは、この3年間で、現地校との両立がぐんと難しくなったのではないのでしょうか。それにもかかわらず皆さんは、いつも明るく、数々の場面で活躍を見せてくれました。特に、運動会の応援団では、情熱的かつ活気的な踊りを見せ、勝ち負け関係なく運動会を盛り上げてくれました。生徒会では、素晴らしい編集の美化月間ビデオを作り上げ、全校生徒の美化意識を高めてくれました。高等部へ進学し、より深い友達との思い出を作り、学校の中心として活躍してほしいと思います。



そして、高校2年生の皆さん。先輩方とは、とくに今年、たくさんの思い出を作りました。廊下でのちょっとした雑談だったり、応援団に向けての放課後練習、ときには学校外での会話や相談、どれもが私にとっての大切な時間となりました。

その中で、高2の皆さんは他の人に相談したり、周りの人に頼る大切さを教えてくれました。自分一人で問題を抱え込むのではなく、時には周囲に頼り、助け合いながら目標に向かって取り組むことを教えてくれました。そんな関係は、現地校ではあまり得られない、ワシントン日本語学校ならではの宝物でした。

課外活動や生徒会、テスト等に追われる日々の中でも、現地校と日本語学校を見事に両立されてきた高2の先輩方の姿を見習い、私たちもこれからの学びに真摯に向き合ってまいります。私たちにたくましい背中を示し、時には貴重なアドバイスをくださった先輩方には、心より感謝申し上げます。

これから皆さんは、世界各地の大学、それぞれの道へと進んでいかれると思います。それでも、日本語学校で作った思い出、一緒に過ごした仲間との時間を胸に、夢に向かって進んでください。

在校生一同、皆さんのご活躍をお祈りしています。私たちも、ワシントン日本語学校のバトンを引き継いで、魅力的な学校を守っていきたいと思います。

以上をもちまして、私からの送辞とさせていただきます。

令和8年3月21日

在校生代表 高等部1年 高松カリン